令和８年７月１２日午後開催　市長と語る！新タウンミーティングの概要

１　日程等
（１）開催日　令和８年７月 12 日（日）午後２時開会（午後３時３０分閉会）
（２）会　場　江南公民館　会議室Ａ・Ｂ
（３）テーマ　市長の基本政策・令和８年度予算について

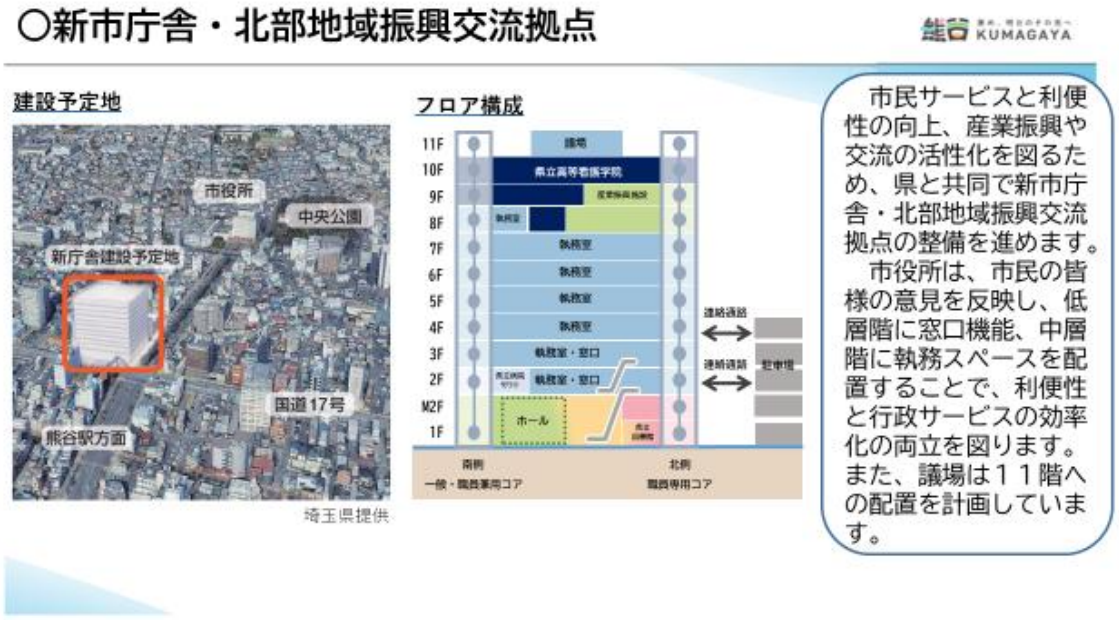
２　意見交換・質疑応答の概要
市民）
　消防署の統合がございました。大里と江南で一つにということでございますけども、まだ場所等はお決まりになっていらっしゃらないのでしょうか。また、候補とされている場所があると伺っておるんですけども、そこの場所は、決して防災マップを見ても安全なところではないと考えています。細かいところがお決まりであれば、教えていただければありがたいなと思っております。
市長）
　南部消防署の場所については、洪水の影響は受けにくいところで考えています。一つ心配なのは、大里地区の今の消防署については水が出ると３ｍの浸水地域にあるので、やはり集約をした方がいいだろうという考え方の中で進めさせてもらっていますので、御理解いただきたいと思います。

市民）
　江南清掃センターの方は廃止ということで今度は別府の方に 1 本ということのようでございますけども、こちらの方はなくなってしまってその後の対応というのはどのようになるんでしょうか。
　大里も吉岡も江南も今後持ち込みをするということになりますと、時間的なものもございますし、庭や畑等がある家庭であれば、そこで燃やしてしまうことも考えられるかなと思っております。
市長）
　焼却炉は維持をすることに非常にお金がかかりますので、今回は集約して１か所という形にさせていただきたいと思っています。一番の問題は個人の持ち込みの距離が遠くなるということかと思います。
　荒川南部の方たちが、別府まで行くのは大変だという点をどう解消するかというのは、これからの議論ということになりますので、もう少しお時間をいただけたらと思います。新たな焼却炉を建て始めて、完成予定が令和 14 年になりますので、その間に一定の方向は出したいと思いますので、御理解ください。

市民）
　大沼公園の入り口のセブンイレブンから熊谷駅まで歩道がなくてどうしようもない。税金を無駄なことに使わず、子や孫に残せる遺産をつくってもらいたい。
市長）
　御意見としてお伺いをさせていただきます。

（道路課）御意見については熊谷県土整備事務所に情報提供させていただきました。

市民）
　６月の市報に新しい庁舎の図みたいなのが載っていて、その一番上に議会があります。一番展望がいい場所なので、市民も上がれるようになっているといいなと思ったんですけど、いかがでしょうか。




市長）
　最上階には議会を設置するだけでなく、皆さんが外を見渡せるようなつくりにし、気軽にお越しいただけるようにしたいと思っています。

市民）
　今、高等看護学院が循環器・呼吸器病センターの横にありますけど、結構大きいですが、全部入りきるんでしょうか。現在の場所に残ったままなのでしょうかね。循環器・呼吸器病センターの横にあった方が実習などもしやすいと思います。
市長）
　県の基本計画によると、高等看護学院は北部地域振興交流拠点に移転させる

予定です。現在の校舎は駅からも離れていますが、熊谷駅からの徒歩圏内になることから生徒を集めやすくなります。
　実習については、循環器・呼吸器病センターだけでなく県内の各医療機関に行っているもようです。

市民）
　前は乳幼児健診が江南で受けられましたが、車がない方は、くまキッズに行く手段はあるんでしょうか。
　車じゃない方も中にはいらっしゃるのでバスを乗り継いだにしても、どうやって行くのかよくわからないんですけど、駅からすごく離れています。新しくできた子どもの施設とかも楽しそうですけど、そこまでなかなか行けないかなと思っています。
市長）
　この件については、持ち帰って検討させてください。
　母子健康センターがくまキッズにできて、ワンストップで全部できる、聞こえはいいかもしれないけども、集約するとそういった負の部分も出てくるのかなと思いました。そういう地域の皆さん方のお声の部分にまだ今日はお答えできる答えを持ってこなかったことをお詫びさせていただきます。それについては何らかの形で、対応をさせていただけたらと思います。

（こども相談課）（地域保健課）　江南地区から「くまキッズ」に公共交通機関でお越しいただく場合は、以下のバスをご利用ください。
⑴　江南地区～熊谷駅
①国際十王交通の路線バスまたは②市内循環バス（ほたる号）をご利用ください。
⑵　熊谷駅～くまキッズ
①朝日バスの路線バスまたは②市内循環バス（直実号）をご利用ください。
①朝日バス：バス停「熊谷駅北口」から太田駅・妻沼仲町・妻沼方面のバスに乗車いただき、「気象台入口」で下車ください。（バス停下車徒歩５分）
②市内循環バス（直実号）：バス停「熊谷駅南口」で乗車いただき、「くまキッズ」で下車ください。（バス停下車すぐ）
　なお、現在の乳児健診、１歳６か月児健診、３歳児健診は個別健診として医療機関で受けられるようになりました。また、５歳児健診は集団健診という形をとっており、くまキッズ内の熊谷市保健センター内で行っています。

市民）
　熊谷駅までのアクセスですが、江南からバスで行くと鎌倉町の方を通って、八

木橋の方を回って熊谷駅北口で下りています。しかし、立正大学からのバスは、南口に着いています。なぜ立正大学だけ南口に早く着けるような形のアクセスがあるのか。多くの人が熊谷駅に早く行きたいんだから早くそのルートを検討してほしい。

市長）

バス事業者とそれから国土交通省との交渉になりますので、古くからあった路線を新たな路線に変えるというのは厳しいというお話をバス会社の方から伺っていますので御理解ください。

駅にスピーディーに行きたいという方と、お買い物があったり、用事を済ませて回りたいという方と、ニーズはいろいろあると思いますので、より多くの皆さん方の御意見を伺ってから要望するということになろうかと思いますので、御理解をいただきたいと思います。

市民）

補助金を使ったり空き家バンクをつくったり空き家解消にいろいろ努めているかなと思います。基本的には個人の財産だから、市としてはなかなか踏み込むことはできない難しい部分ではあるとは思うんですが、ぜひ一歩踏み込んでみて、市の方で買い上げるとか、借り上げるとか例えば市営住宅のような感じで使うとか、そういう考え方というのはないのかなと思ったのですが、いかがでしょうか。

市長）

土地に対して住宅が建っていると、固定資産税の課税標準が６分の１に軽減されますが、改善等がなされない場合、住宅があっても特例の対象から外すことができるように法律が変わりました。空き家の解消の促進にまずは法律を使いながら、対応をさせていただきたいと考えています。

（資産税課）住宅１戸当たり２００㎡までの部分を小規模住宅用地といい、課税標準額が６分の１に軽減され、２００㎡を超える部分を一般住宅用地といい、課税標準額が３分の１に軽減されます。

一つの住宅ではなくて、集合住宅などは今後市で借り上げて、住んでいただくというのも一つの考えかと思います。